

I. 神奈川県内 a. 関東ローム層

(5) 箱根多摩 TAU-12 テフラ 露頭剥ぎ取り標本

標本番号 KPM-NP 14

標本名 箱根多摩 TAU-12 テフラ 露頭剥ぎ取り標本

大きさ 幅 0.8 m, 高さ 1.12 m

重量 14.9 kg (板付き)

形状・展示・収納状況 板に固定した状態で大型移動
棚に収蔵

採集地 神奈川県足柄下郡真鶴町真鶴

緯度・経度 N35°09'00", E139°08'46"

標高 7 m

露頭の種別と現状 旧海食崖の自然露頭、現存

露頭面の向き、傾斜 N20°E、75°E

堆積物の種別 降下テフラ (陸成層)

年代 125-130 ka (箱根多摩 TAU-12, 町田・新井,
2003)

採集作業者 森山哲和 (考古造形研究所)

採集立会い者 笠間友博

採集日 2011 年 10 月 10 日

関連文献等

町田 洋・新井房夫, 2003. 火山灰アトラス. 336pp.
東京大学出版会, 東京.

解説 真鶴軽石は箱根火山前期中央火口丘起源 (長井・高橋, 2008) の軽石質テフラで、降下軽石と火砕流堆積物からなる (町田ほか, 1974)。降下軽石は真鶴軽石 (MnP) とも呼ばれ、真鶴半島では特に厚く堆積し、ブロック材料として採掘されていた時期もあった。指標テフラとして重要な点は、MIS 5.5 の海進後期に噴出したことである (町田・新井, 2003)。標本では降下軽石層の一部 (最下部から 1 m 付近) を採取した。目立つ粒径 15 ~ 30 mm、最大 60 mm の白色軽石からなり、黒曜石片を含む。

記録者 笠間友博



図 1a-5-2. 剥ぎ取り標本の採集露頭。

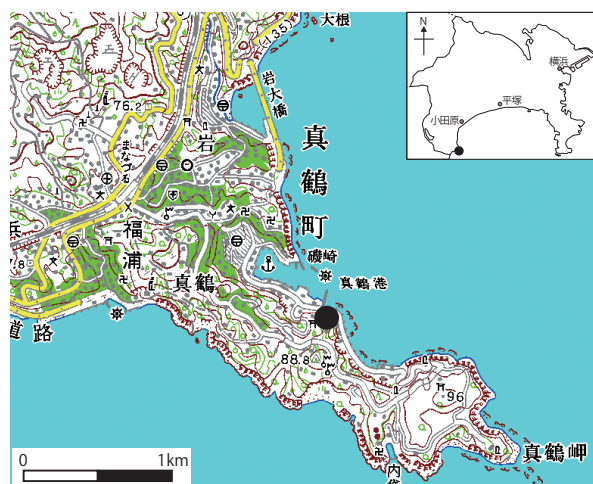


図 1a-5-1. 採集地点 (国土地理院発行の数値地図 50,000 (地図画像)「埼玉・東京・神奈川」を使用)。



図 1a-5-3. 剥ぎ取り標本の展示の様子 (2011 年度企画展「箱根ジオパークをめざしてー箱根・小田原・湯河原・真鶴の再発見ー」)。



図 1a-5-4. 剥ぎ取り標本の採集の様子.



図 1a-5-5. 剥ぎ取り標本の写真.